

◎円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(略称) 中国との円借款取極

平成 元年 五月 十六日 北京で  
平成 元年 五月 十六日 効力発生  
平成 元年 七月 四日 告示

(外務省告示第三二六号)

目 次

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| 日本側書簡                               | 三八九 |
| 1 円借款の供与                            | 三八九 |
| 2 借款契約の締結及び借款の条件                    | 三八九 |
| 3 借款の対象                             | 三九〇 |
| 4 生産物又は役務の調達                        | 三九〇 |
| 5 借款、利子等の免税                         | 三九〇 |
| 6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与               | 三九一 |
| 7 生産物の海上輸送                          | 三九一 |
| 8 借款の適正使用等                          | 三九一 |
| 9 計画の進捗状況 <sup>ちよく</sup> についての情報の提供 | 三九一 |
| 10 協議                               | 三九二 |
| 中国の円借款取極                            | 三八七 |

|              |     |
|--------------|-----|
| 事業計画表        | 三九三 |
| 中国側書簡        | 三九五 |
| ○ 解釈正文に関する書簡 | 四〇一 |
| 日本側書簡        | 四〇一 |
| 中国側書簡        | 四〇二 |

円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者と中華人民共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1 九百七十一億七千九百万円(九七、一七九、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの円貨による借款(以下「借款」という)が、この書簡に附属する事業計画表に掲げる計画を実施するため、同事業計画表に定める各計画についての額に応じ、海外経済協力基金(以下「基金」という)により、日本国の関係法令に従って、中華人民共和国政府に供与されることになる。中華人民共和国対外経済貿易部(以下「対外経済貿易部」という)は、中華人民共和国政府により、中華人民共和国政府に代わって借款を受け入れ及び基金との間で借款契約に署名する権限を与えられる。

2 (1) 借款は、1にいう計画のそれぞれにつき対外経済貿易部と基金との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、なかなずく次の原則を含むことになる前記の借款契約によって規制される。

(a) 償還期間は、十年の据置期間の後二十年とする。

中国の円借款取極

借款の  
対象

生産物又  
は役務の  
調達

借款、利

- (b) 利率は、年二・五パーセントとする。
- (c) 支出期間は、事業計画表に掲げる6の計画については関係借款契約の発効の日から七年とし、事業計画表に掲げる1、2、3、4、5、7、8、9、10及び11の計画については関係借款契約の発効の日から五年とする。
- (2) (1)にいう借款契約は、基金が当該借款契約に係る計画の実行可能性を確認した後締結される。
- (3) (1)(c)にいう支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。
- 3 (1) 借款は、中国の実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はコンサルタントに対して行う支払で、1にいう計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で既に締結されたか又は締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。
- (2) (1)にいう調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。
- 4 中華人民共和国政府は、3(1)にいう生産物又は役務が基金の調達のためのガイドライン（国際入札の手續が適用できないか又は適当でない場合を除くほか、なかならず従うべき国際入札の手續を定める。）に従って調達されるよう必要な措置をとる。
- 5 中華人民共和国政府は、次のものを免除する。

- (1) 基金について、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連して課される中国の財政課徴金又は租税
  - (2) 請負業者又はコンサルタントとして活動する日本国の会社について、1にいう計画の実施に必要な自己の建設機材の搬入及び搬出に関して課される中国の関税及び関連の財政課徴金
- 6 借款に基づいて行われる生産物又は役務の供給に関連して中華人民共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のため中華人民共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。
- 7 借款に基づいて購入される生産物の海上輸送に関し、千九百七十四年十一月十三日に東京で署名された日本国と中華人民共和国との間の海運協定及び千九百七十六年八月二十五日付けの海運業務に関する協議のための民間団体の設立等に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文に従い、両政府は、同交換公文にいう両国の海運企業の団体の間の協議が円滑かつ適時に行われるよう奨励する。
- 8 中華人民共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。
- (1) 借款が適正にかつ専ら3(1)にいう生産物又は役務を購入するために使用されること、
  - (2) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定められた目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使用されること。
- 9 中華人民共和国政府は、要請に応じ、日本国政府に対し、

中国の円借款取極

1 にいう計画の進捗状況についての情報を提供する。

10 両政府は、共同して借款の実施状況を随時検討し、借款の円滑かつ効果的な使用を確保するために必要な措置をとり、また、前記の了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互に協議する。

本使は、閣下が前記の了解を中華人民共和国政府に代わって確認されれば幸いであります。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百八十九年五月十六日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 中島敏次郎

中華人民共和国

外交部副部長 劉 述 卿 閣下

## 事業計画表

(限度額)

|    |  |             |
|----|--|-------------|
| 1  | 連雲港拡充計画(第六期施工準備及び第六期本体工事)                  | 七十四億九千万円    |
| 2  | 青島港拡充計画(第六期施工準備及び第六期本体工事)                  | 二百六十五億千四百万円 |
| 3  | 天生橋水力発電計画(第六期施工準備及び第六期本体工事)                | 百九十二億三千五百万円 |
| 4  | 五強溪ダム建設計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)                | 六十億二千万円     |
| 5  | 大同・秦皇島間鉄道建設計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)            | 六十二億七千九百万円  |
| 6  | 観音閣多目的ダム建設計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)             | 八十九億三千四百万円  |
| 7  | 北京市地下鉄建設計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)               | 十四億九千万円     |
| 8  | 国家経済情報システムモデル計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)          | 二十八億九千万円    |
| 9  | 北京市上水道整備計画(第二期施工準備及び第二期本体工事)               | 四十八億六千六百万円  |
| 10 | 四都市(ハルビン、福州、寧波、貴陽)ガス整備計画(第二期施工準備及び第二期本体工事) | 八十九億三千百万円   |
| 11 | 四都市(南京、成都、徐州、鄭                             |             |

中国の円借款取極

中国の円借款取極

州) 上水道整備計画(第二期施工  
準備及び第二期本体工事)

四十五億三千万円



(中国側書簡)

(訳文)

中国側書簡

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

(中方照会)

日本国駐中華人民共和国特命全权大使中島敏次郎先生閣下

閣下：

我谨收到閣下今日的照会，内容如下：

“我谨确认，日本国政府代表和中华人民共和国政府代表，最近就有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款，达成如下谅解：

一、根据日本国的有关法律和规章，海外经济协力基金（以下简称“基金”），将向中华人民共和国政府提供不超过九百七十一亿七千九百万日元(¥97,179,000,000)数额的日元贷款(以下简称“贷款”)，以便按照所附项目表规定的每个项目的金额实施该项目表开列的各个项目，中华人民共和国政府授权中华人民共和国对外经济贸易部（以下简称“对外经济贸易部”）代表中华人民共和国政府接受“贷款”，并与“基金”签订贷款协议。

二、(一)“贷款”将根据“对外经济贸易部”和“基金”就第一款提到的每个项目所签订的贷款协议予以提供。“贷款”的条件及其使用程序将受上述贷款协

议的制约。这些协议将特别包括以下原则：

1、偿还期为十（10）年宽限期之后二十（20）年；

2、年利率为百分之二点五（2.5%）

3、所附项目表中提到的第六项的支付期为从有关贷款协议生效之日起七（7）年，所附项目表中提到的第一、二、三、四、五、七、八、九、十和十一项的支付期为从有关贷款协议生效之日起五（5）年。

(二)上述第(一)项中提到的贷款协议，将在“基金”对同贷款协议有关的项目认为实际可行后，予以缔结。

(三)上述第(一)项第3目中提到的支付期，经两国政府有关当局同意可予延长。

三、(一)“贷款”将为中国的执行机构根据他们同有资格来源国的供应厂商、承包商和(或)顾问为了实施第一款提到的项目所需要购买产品和(或)服务而已经签订或可能签订的合同，向这些厂商、承包商和(或)顾问支付而提供，但此项购买是以在有资格来源国里为采购该国生产的产品，和(或)从这些国家提供服务者为限。

(二)上述第(一)项提到的有资格来源国的范围将由两国政府的有关当局达成协议。

四、中华人民共和国政府将采取必要措施，按照“基金”关于采购的指导原则购得上述第三款第(一)项

提到的产品和（或）服务。这些原则特别规定了应予遵循的国际投标手续，但不能适用或不适合者除外。

五、中华人民共和国政府将免除：

(一)“基金”对关于“贷款”和由此产生的利息而由中国征收的财政税捐或税款；和

(二)作为承包商和顾问的日本国公司，为实施第一款提到的项目需要带入和带出他们自备的施工设备，而由中国征收的关税和有关的财政收费。

六、根据“贷款”有关供应产品和（或）提供服务而需在中华人民共和国工作的日本国国民，为执行其工作而进入和在中华人民共和国居留，将给予必要方便。

七、关于根据“贷款”购买的产品的海上运输问题，两国政府将按照一九七四年十一月十三日在东京签订的中华人民共和国和日本国海运协定，和一九七六年八月二十五日两国政府关于为协商海运服务而建立民间组织和其它有关事宜的换文，鼓励在该换文中提到的两国海运公司组织间进行顺利和适时的协商。

八、中华人民共和国政府将采取必要措施以确保：

(一)“贷款”的使用仅限于适当购买第三款第(一)项提到的产品和（或）服务。

(二)按照这项谅解所述的目的，适当而有效地维持和使用根据“贷款”建设的设施。

九、中华人民共和国政府将根据请求，向日本国

政府提供在第一款中提到的项目的有关进展情况的消  
息。

十、两国政府将随时共同检查“贷款”的实施进  
展情况，以及采取必要的措施，以确保“贷款”的顺  
利和有效的使用，并就上述谅解可能产生的任何问题  
或者有关事项另外进行相互磋商。

如蒙阁下代表中华人民共和国政府确认以上谅解，  
我将不胜感激。

项 目 表  
(限 额)

|                                      |               |
|--------------------------------------|---------------|
| 一、连云港扩建项目<br>(第六期施工准备和第六期<br>主体工程)   | 七十四亿九千万日元     |
| 二、青岛港扩建项目<br>(第六期施工准备和第六期<br>主体工程)   | 二百六十五亿一千四百万日元 |
| 三、天生桥水力发电项目<br>(第六期施工准备和第六期<br>主体工程) | 一百九十二亿三千五百万日元 |
| 四、五强溪水库修建项目<br>(第二期施工准备和第二期<br>主体工程) | 六十亿二千万日元      |

本官は、更に、中華人民共和国政府に代わって、閣下の書翰に述べられた提案に同意する光栄を有します。  
 本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

- 五、大同—秦皇岛铁路建设项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
六十二亿七千九百万日元
- 六、观音阁水库建设项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
八十九亿三千四百万日元
- 七、北京市地铁建设项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
十四亿九千万日元
- 八、国家经济信息系统试点项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
二十八亿九千万日元
- 九、北京市供水项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
四十八亿六千六百万日元
- 十、四城市（哈尔滨、福州、宁波、贵阳）供气项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
八十九亿三千一百百万日元
- 十一、四城市（南京、成都、徐州、郑州）供水项目  
（第二期施工准备和第二期主体工程）  
四十五亿三千百万日元”

我谨代表中华人民共和国政府确认阁下照会中提出的谅解。

顺致最崇高的敬意。

中国の円借款取極

千九百八十九年五月十六日に北京で

中華人民共和国

外交部副部長 劉述卿

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 中島敏次郎閣下

四〇〇

中華人民共和国  
外交部副部長

劉述卿

一九八九年五月十六日于北京

（解釈正文に関する書簡）

（日本側書簡）

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関する本日付けの交換公文に關し、日本語、中国語及び英語により作成された同交換公文の解釈に相違がある場合には英語の本文によるものとするを日本国政府に代わって提案する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百八十九年五月十六日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 中島敏次郎

中華人民共和国

外交部副部長 劉述卿 閣下

(中方函件)

日本国駐中华人民共和国特命全权大使中岛敏次郎先生閣下

閣下：

我谨收到閣下今日的来函，内容如下：

“我谨就今天有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款的换文，代表日本国政府建议：上述用日文、中文和英文写成的换文，如果在解释上发生分歧，应以英文本为准。”

我谨代表中华人民共和国政府同意閣下来函中提出的建议。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国  
外交部 副部长

劉述卿

一九八九年五月十六日于北京



(Japanese Note)

Beijing, May 16, 1989

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the People's Republic of China concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China:

1. A loan in Japanese yen up to the amount of ninety seven billion one hundred and seventy nine million yen (¥97,179,000,000) (hereinafter referred to as "the loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the People's Republic of China by the Overseas Economic Cooperation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") to implement the projects listed in the Project List attached hereto, according to the amount for each project as specified in the said Project List. The Ministry of Foreign Economic Relations and Trade of the People's Republic of China (hereinafter referred to as "the Ministry") is authorized by the Government of the People's Republic of China to accept the loan and sign the loan agreements with the Fund on behalf of the Government of the People's Republic of China.
2. (1) The loan will be made available by loan agreements to be concluded for each of the projects mentioned in paragraph 1 between the Ministry and the Fund. The terms and

conditions of the loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, inter alia, the following principles:

- (a) The repayment period will be twenty (20) years after the grace period of ten (10) years.
- (b) The rate of interest will be two and a half (2.5) per cent per annum.
- (c) The disbursement period will be seven (7) years with regard to the project mentioned in 6 of the Project List, and five (5) years with regard to the projects mentioned in 1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10 and 11 of the Project List from the date of coming into force of the relevant loan agreement.
- (2) The loan agreement mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after the Fund is satisfied of the feasibility of the project to which such loan agreement relates.
- (3) The disbursement period mentioned in sub-paragraph (1) (c) above may be extended, with the consent of the authorities concerned of the two Governments.
3. (1) The loan will be made available to cover payments to be made by Chinese executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as have been or may be entered into between them for purchases of products and/or services to be required for the implementation of the projects mentioned in paragraph 1, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

(2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

4. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures for products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 to be procured in accordance with the guidelines for procurement of the Fund, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. The Government of the People's Republic of China will exempt:

(1) The Fund from Chinese fiscal levies or taxes on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom; and

(2) Japanese companies operating as contractors and/or consultants from Chinese duties and related fiscal charges with respect to the bringing-in and bringing-out of their own construction equipment needed for the implementation of the projects mentioned in paragraph 1.

6. Japanese nationals whose services may be required in the People's Republic of China in connection with the supply of products and/or services to be provided under the loan will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the People's Republic of China and stay therein for the performance of their work.

7. With regard to the shipping of products purchased under the loan, the two Governments will, in accordance with the Agreement on Maritime Transport between Japan and the People's Republic of China signed at Tokyo on

November 13, 1974 and the Exchange of Notes between the two Governments dated August 25, 1976, concerning the establishment of private organizations for the consultation on shipping service and other related matters, encourage smooth and timely consultations between the organizations of shipping companies of the two countries referred to in the said Exchange of Notes.

8. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that:

(1) the loan be used properly and exclusively for purchases of products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3, and

(2) the facilities constructed under the loan be maintained and used properly and effectively for the purposes prescribed in this understanding.

9. The Government of the People's Republic of China will, upon request, furnish the Government of Japan with information on the progress of the projects mentioned in paragraph 1.

10. The two Governments will jointly review from time to time the progress of the implementation of the loan and take measures necessary to secure smooth and effective utilization of the loan and otherwise consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the foregoing understanding.

I should be grateful if Your Excellency would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the People's Republic of China.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest

consideration.

(Signed) Toshihiro Nakajima  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic of China

His Excellency  
Mr. Liu Shuqing  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic of China

Project List

(Maximum amount in million yen)

1. Lianyung Port Expansion Project  
(Construction Preparation (Stage VI)  
and Main Construction Work (Stage VI)) 7,490
2. Qingdao Port Expansion Project  
(Construction Preparation (Stage VI)  
and Main Construction Work (Stage VI)) 26,514
3. Tianshengqiao Hydroelectric Power Project  
(Construction Preparation (Stage VI)  
and Main Construction Work (Stage VI)) 19,235
4. Wugiangxi Dam Construction Project  
(Construction Preparation (Stage II)  
and Main Construction Work (Stage II)) 6,020
5. Datong-Qinhuangdao Railway Construction  
Project  
(Construction Preparation (Stage II)  
and Main Construction Work (Stage II)) 6,279
6. Guanyingge Multipurpose Dam Construction  
Project  
(Construction Preparation (Stage II)  
and Main Construction Work (Stage II)) 8,934
7. Beijing Subway Construction Project  
(Construction Preparation (Stage II)  
and Main Construction Work (Stage II)) 1,490
8. Model Project of State Economic  
Information System  
(Construction Preparation (Stage II)  
and Main Construction Work (Stage II)) 2,890

- 
- |  |       |
|--|-------|
| 9. Beijing Water Supply Project<br>(Construction Preparation (Stage II)<br>and Main Construction Work (Stage II))  | 4,866 |
| 10. Urban Gas Supply Projects (Haerbin,<br>Fuzhou, Ningbo, Guiyang)<br>(Construction Preparation (Stage II)<br>and Main Construction Work (Stage II))      | 8,931 |
| 11. Urban Water Supply Projects (Nanjing,<br>Chengdu, Xuzhou, Zhengzhou)<br>(Construction Preparation (Stage II)<br>and Main Construction Work (Stage II)) | 4,530 |
- 

(Chinese Note)

Beijing, May 16, 1989

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the People's Republic of China the understanding set forth in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Liu Shuging  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic of China

His Excellency  
Mr. Toshijiro Nakajima  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic of China

(Japanese Letter)

Beijing, May 16, 1989

Excellency,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China, I have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that in case there is any divergence of interpretation of the said Exchange of Notes which is done in the Japanese, Chinese and English languages, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Toshihiro Nakajima  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic of China

His Excellency  
Mr. Liu Shuging  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic of China

中国の円借款取極

(Chinese Letter)

Beijing, May 16, 1989

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's letter of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Letter)"

I have further the honour to express agreement, on behalf of the Government of the People's Republic of China, to the proposal put forward in Your Excellency's letter.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Liu Shuging  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic of China

His Excellency  
Mr. Toshihiro Nakajima  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic of China

図〇中

(参考)

この取極は、海外経済協力基金が中華人民共和国政府に対し、九百七十一億七千九百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認したものである。